

令和 7 年度 社会学類編入学試験

【法学】

専門科目問題冊子

(注意事項)

- ・問題冊子 1 部、解答用紙 2 枚が配られているか、確認してください。
- ・これは法学主専攻の試験問題です。あらかじめ届け出ている主専攻と合致しているか、確認してください。
- ・すべての解答用紙の所定欄に、学群、学類、氏名、受験番号を記入してください。これらが正しく記入されていない答案は、採点できないことがあります。
- ・法学の専門科目問題は、【問題 1】、【問題 2】の 2 つで構成されています。すべての設問に解答してください。
- ・解答用紙は、【問題 1】、【問題 2】のそれぞれについて 1 枚を使用してください。(合計 2 枚を使用)。なお、解答用紙の第 1 行目に、解答した問いの番号 (【問題 1】、【問題 2】) を、それぞれ記入してください。
- ・解答欄が足りない場合には、裏面を利用してください。ただし、その場合には、解答用紙の表の最終行に「裏面へ続く」旨記入してください。

【問題 1】

令和 7 年度編入試験問題（私法）

問 1 次の用語の意味を説明しなさい。

- (1) 心裡留保
- (2) 表見代理
- (3) 即時取得
- (4) 入会権
- (5) 催告の抗弁権
- (6) 敷金
- (7) 事務管理
- (8) 認知
- (9) 限定承認
- (10) 配偶者居住権

問 2 人体の解剖や臓器移植、献血・輸血を行うことは医学・医療の目的で認められているが、それには死体や分離した生体の一部を利用する必要がある。しかし、通常之物と同様に人体を所有権や契約の対象として認めるかどうかについては議論が分かれるところである。

判例は、生きている者の身体は所有権の目的とすることはできないが、その身体の一部を構成するものが分離したときには、それは有体物として所有権の目的になり得る（大判大正10年7月25日明録27輯1408頁）、としつつ、遺骸や遺骨に所有権が認められるのは埋葬や祭祀という目的を達成するためであるから、このような所有権は「事物ノ性質上他ノ財貨ニ対スル所有権ト大ニ趣ヲ異ニシ特殊ノ制限ニ服」する（大判昭和2年5月27日民集6巻7号307頁）、と判示している。

学説では主に、①分離した生体の一部を所有権の対象として認めるかどうか、②分離した生体の一部を契約の対象として認めるかどうか、③死体を契約の対象として認めるかどうか、について議論がある。これに対して、④生体全体および分離する前のその一部を所有権の対象として認めないことについては異論がないとされる。

以上を踏まえて、①から④の各論点について自己の意見を理由と共に述べなさい。なお、上記の判例・学説の見解に従う必要はない。

[問題 2]

1. 日本国憲法において平和主義が規定されている部分と、その内容について論じなさい。
2. 憲法 25 条の解釈としてプログラム規定説が挙げられることがあるが、プログラム規定説の内容を説明しなさい。その上で、プログラム規定説、もしくは他の説（有力説でない自説を含む）から憲法 25 条の望ましい解釈として考えるものを説明しなさい。

令和 7 年度 社会学類編入学試験
【法学】
外国語（英語）問題冊子

（注意事項）

- ・問題冊子 1 部、解答用紙 1 枚が配られているか、確認してください。
- ・これは法学主専攻の試験問題です。あらかじめ届け出ている主専攻と合致しているか、確認してください。
- ・すべての解答用紙の所定欄に、学群、学類、氏名、受験番号を記入してください。これらが正しく記入されていない答案は、採点できないことがあります。
- ・解答欄が足りない場合には、裏面を利用してください。ただし、その場合には、解答用紙の表の最終行に「裏面へ続く」旨記入してください。

以下は、ある「ケアの倫理」に関する研究者が、人権について書いた文章である。この文章を読み、[問 1]から[問 4]までの各問に日本語で答えなさい。

「この部分は、著作権の都合により、公開できません」

「この部分は、著作権の都合により、公開できません」

[問 1] 下線部(A)を全訳しなさい。

[問 2] 下線部(B)における前者(the former)と後者(the latter)とは何を示すか簡潔に述べなさい。

[問 3] 下線部(C)において、法に私たちの焦点をおくことを著者は批判している。著者が示す論拠を簡潔にまとめ記述しなさい。

[問 4] 下線部(D)に関連し、あなたが重要と考えるグローバルな社会的課題を一つ挙げなさい。その課題に対処する上で、法、文化変容、道徳が果たすべき望ましい動態についてあなたの考えを述べなさい。

出典：Virginia Held (2015) "Care and Human Rights," in Rowan Cruft, Matthew Liao, and Massimo Renzo (eds.), *Philosophical Foundations of Human Rights*, Oxford: Oxford University Press. (問題作成に当たって、註を挿入し、文章を一部削除した。)